

確に進め、少しでも要望にお応えしていききたい。

消防費

消防団員の確保

金田委員 団員報酬が予算額に対し減額となっているが、予定していた団員が確保できなかったのか。

総務課長 指摘のとおり、団員定数670名で算定していたが、実績は37名減の633名で、減額となった。

金田委員 地域での活動が支障なくできる団員数は当然必要であり、対策をどのように考えているか。

総務課長 団員の処遇改善、活動しやすい装備の充実、消防演習・操法大会などの負担軽減などが必要と考えている。町民の生命を守る消防団員の定数確保



については、重要な課題であり、新入団員の確保などに取り組んでいきたい。

戸別受信機の活用

横山委員 防災情報戸別受信機の購入数と配布台数、通信費について何う。

総務課長 450台購入し、現在は205台を配布している。

通信費は1台当たり年間3960円、納入と同時に発生している。
横山委員 もったいなさを感じる。機材の活用をどのように進めるのか。

総務課長 地域の方と話をしながら対象を拡大して、今年度中に全て行き渡るようにしたい。



教育費

GIGAスクール

笹原委員 取り組みの現状と課題を何う。

教育次長 コロナ禍の影響で登校できないときによりモート授業を行い、学びの保障につながった。中学校では部活動や生徒会活動など活用が広がっている。課題は学校や学級ごとの利用頻度に差があることなどである。



先生方も勉強中

荒砥高校地域連携協議会の活動

横山委員 実績は何か。
教育次長 入学者の確保を目指し、基礎学力の定着、学校紹介動画の更新、夜間の学校説明会などを実施した。コロナ禍により中学校との交流やオープンスクールの充実などは実施できなかった。

荒砥高校福祉資格取得支援事業

横山委員 支出が無かった。実施しなかったのか。
教育次長 介護職員初任者研修を実施するものの、残念ながら応募がなく実施しなかった。



横山委員 この事業は荒砥高校のピエールポイントの一つ。そのあたりの検討が必要になるのではないか。
町長 ピエールという意識はあるが主眼ではない。卒業するときの出口確保、福祉施設の人材確保として、これまで取り組んできた。